

所 属	環境生活部 地球環境課 清流の国ぎふづくり推進室	23年度担当所属名	
担当(係)名	野生生物担当	内線	2703
			環境生活部清流の国ぎふづくり推進課

新 生物多様性保全（有害鳥獣対策）の推進

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】	
	32,603 一般財源	32,603 委託料	19,345
(前年度 18,542)		報償費	12,152

2 背景・現状

県では、平成23年度早期に生物多様性地域戦略を策定し、豊かな自然環境の保全や、持続可能な利用のための取組を積極的に推進することとしている。

近年、野生生物による農林業被害の増大、生態系への影響等が問題となっており、生物多様性の観点から、有害鳥獣の対策が課題となっている。

3 事業目的

農林業被害と生態系への影響を及ぼす野生生物について、保護と管理によって県内の豊かな生物多様性の保全を図る。

4 事業概要

(1) 有害捕獲の担い手の育成

- ・有害捕獲の担い手となる狩猟免許資格者を確保するため、狩猟のもつ社会的意義、狩猟に関する知識などについての講習会を開催する。

(2) 鳥獣に関する生息調査等の実施による保護管理の推進

- ・鳥類による感染症を監視するためのカモ類の糞便調査の実施や、ニホンカモシカの個体数管理のための生息状況の調査を実施する。

新 (3) 農林業被害や生態系へ影響を及ぼすニホンジカ等の生息状況等の調査

- ・被害を及ぼすニホンジカ等の野生生物について、科学的な調査により生息状況や生息密度などを把握し、保護と管理のあり方を検討する。

(4) 有害鳥獣の捕獲に対する経費助成

- ・許可を受け有害鳥獣の捕獲を行う者に対し、捕獲に必要な経費の一部を助成する。

(款) 4 衛生費 (項) 6 環境管理費 (目) (2) 環境管理推進費
 (明細書事業名) ○鳥獣保護費
 狩猟者等指導費、鳥獣対策推進費
 鳥獣害対策調査費、有害鳥獣等対策費